

**平成 30 年度大分県計画に関する
事後評価**

**令和 7 年 1 月
大分県**

3. 事業の実施状況

平成 30 年度大分県計画に規定した事業について、令和 5 年度終了時における事業の実施状況について記載。

【令和 5 年度実施事業】

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業	
事業名	【No. 1 (医療分)】 病床機能分化・連携推進基盤整備事業	【総事業費】 1,419,179 千円
事業の対象となる区域	東部、中部、南部、豊肥、西部、北部	
事業の実施主体	大分県	
事業の期間	令和元年 7 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	高齢化に伴う医療・介護ニーズの増大に対して効率的な医療提供体制を構築するため、病床の機能分化・連携が必要 アウトカム指標： 30 年度基金を活用して整備を行う回復期の病床数 92 床	
事業の内容（当初計画）	地域医療構想の達成に向けた施設整備を行う。 ・急性期病棟を回復期リハ病棟、地域包括ケア病棟へ再編するための施設設備整備。 ・回復期リハ病棟の機能充実のための改修施設設備整備 ・回復期機能を強化するための訓練室施設設備整備	
アウトプット指標（当初の目標値）	対象医療機関数 4 医療機関	
アウトプット指標（達成値）	対象医療機関数 6 医療機関	
事業の有効性・効率性	事業終了後 1 年以内のアウトカム指標： 30 年度基金を活用して整備を行う回復期の病床数 156 床 (1) 事業の有効性 回復期病床の整備を支援することで、地域医療構想の推進に寄与できた。 (2) 事業の効率性 施設整備や設備整備については、各医療機関において入札等の価格競争を実施し、コストの低下を図っている。	
その他	H30 年度 112,125 千円 H31 年度 25,096 千円 R 2 年度 136,378 千円 R 4 年度 18,718 千円 R 5 年度 260,596 千円	